

Cadencii

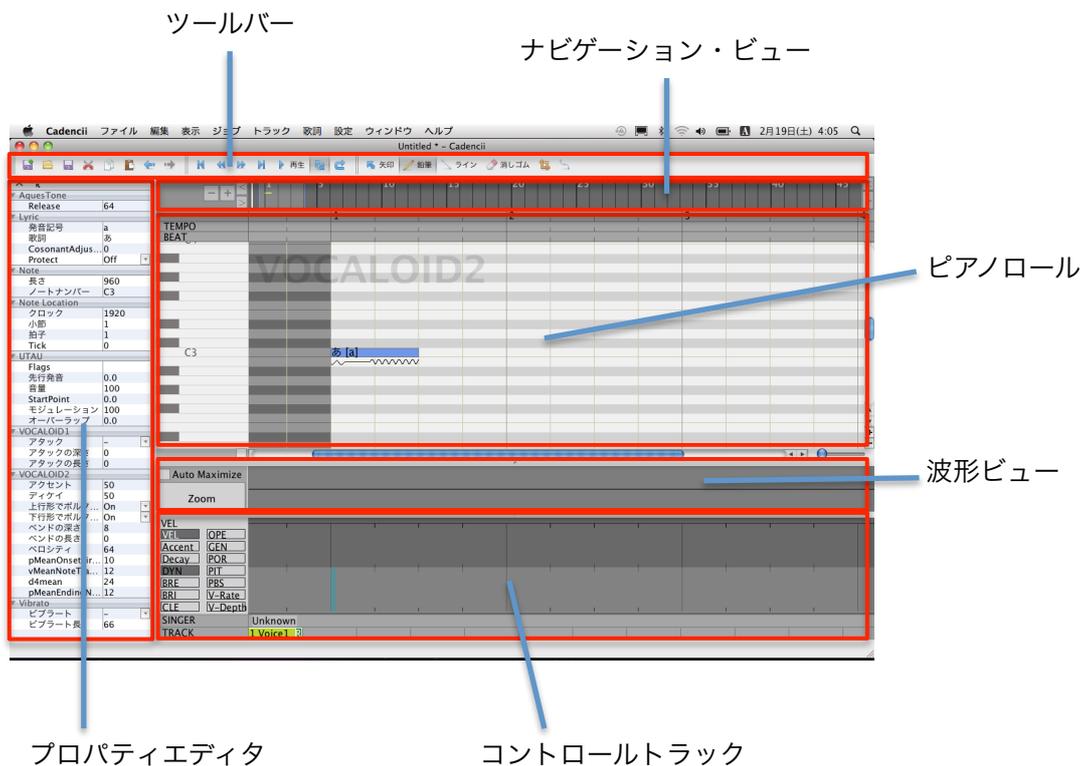
操作説明

1. 操作画面について.....	4
1.1. ツールバー.....	4
「編集」ツールバー.....	5
「ナビゲーション」ツールバー.....	5
「ツール」ツールバー.....	5
1.2. ピアノロール.....	5
ソングポジション.....	6
ピアノロールのスクロール操作.....	7
小節数, テンポ, 拍子の表示レーン.....	7
音符.....	7
表示倍率.....	8
1.3. プロパティエディタ.....	8
メイン画面からの分離.....	8
カテゴリの折りたたみ.....	9
1.4. 波形ビュー.....	10
縦方向の拡大率.....	10
1.5. ナビゲーション・ビュー.....	10
1.6. コントロールトラック.....	10
カーブの種類一覧.....	11
編集エリア.....	12
歌手変更の表示レーン.....	12
トラックの一覧.....	12
1.7. ミキサーウィンドウ.....	12
1.8. アイコンパレットウィンドウ.....	13
2. 音符の入力と編集.....	14
2.1. マウスによる入力.....	14
2.2. MIDI ステップ入力による入力.....	14
3. 歌声合成.....	15
4. シーケンスの保存とインポート・エクスポート.....	16
5. 環境設定.....	17
5.1. 「シーケンス」タブ.....	17
分解能 (VSTi).....	17
自動ビブラート.....	17

5.2. 「その他」タブ	17
デフォルト歌手	17
プリセンドタイム	17
待機時間	17
過去のイベントを追跡	18
バッファサイズ	18
5.3. 「外観」タブ	18
フォント	18
UI 言語	18
トラックの描画高さ	18
表示するコントロールカーブ	18

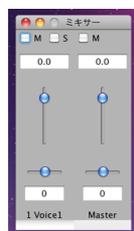
1. 操作画面について

Cadencii のメイン画面は下図のようにツールバー、ピアノロール、プロパティエディタ、波形ビュー、ナビゲーション・ビューと、コントロールトラックから構成されています。この他に、ミキサーウィンドウとアイコンパレットウィンドウがあります。これらのウィンドウやビューの表示/非表示は、「表示」メニューから切り替えることができます。



ミキサーウィンドウ

アイコンパレットウィンドウ



1.1. ツールバー

ツールバーは「編集」、「ナビゲーション」、および「ツール」の3つがあります。

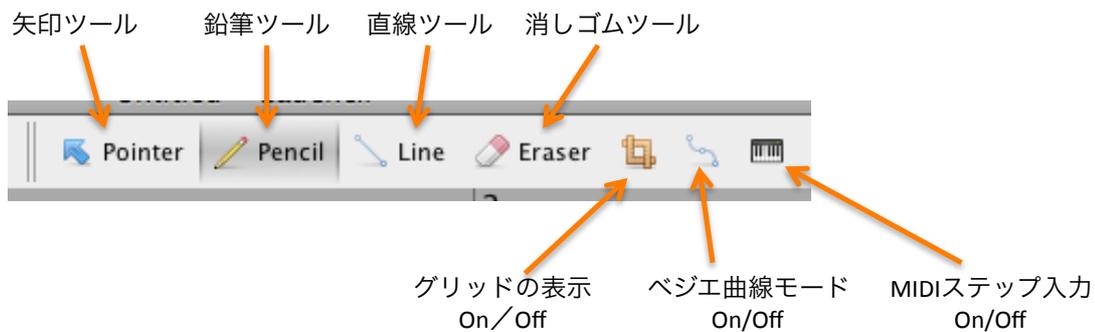
「編集」ツールバー



「ナビゲーション」ツールバー



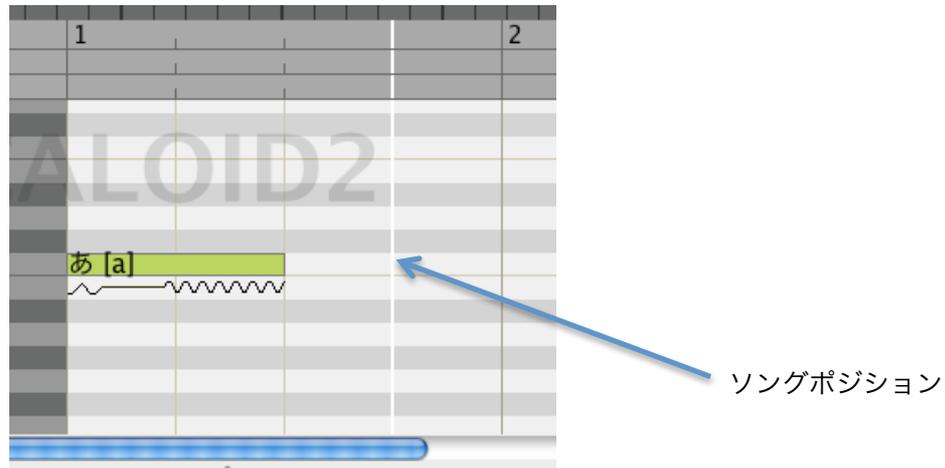
「ツール」ツールバー



1.2. ピアノロール

画面横方向が時間、縦方向が音の高さを表します。半音毎にレーンがあり、音符を必要な長さだけ配置して楽譜を構成していきます。

ソングポジション



文字入力での「カーソル」や「キャレット」に相当するもので、ピアノロール上に太い白の縦線で描かれます。再生ボタンを押した時には再生開始位置となり、音符の貼付け操作もソングポジションに対して行われます。

ソングポジションの移動操作の方法は以下の5通りあります。

小節数の表示レーンをクリック

クリックした位置にソングポジションが移動します。

ツールバーのナビゲーションボタンで移動させる

ソングポジションを移動させる機能を持ったボタンが4つあるので、それらを使います。

ピアノロールの音符以外のところをダブルクリックする

ダブルクリックした位置に、ソングポジションが移動します。

十字キーの左右キーを押す

左右にちょっと移動します。

ゲームコントローラーの十字キーの左右ボタンを押す

ゲームコントローラーを接続していて、「通常モード」¹を選択中の場合のみ利用で

¹ (ここにリンクを書く)

きます。

ピアノロールのスクロール操作

ピアノロールの右と下にある縦横のスクロールバーによってスクロールする他に、幾通りかのスクロール操作の方法が用意されています。

マウスの真ん中ボタンを押しながらドラッグする

真ん中ボタンを押したままマウスを動かすと、マウスカーソルの動きと同調してピアノロールが上下左右にスクロールします。

ナビゲーション・ビューの移動したい位置でダブルクリックする

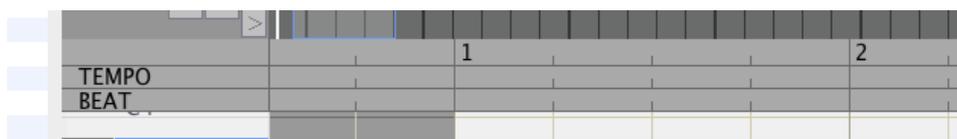
ダブルクリックすると、その位置までピアノロールがスクロールします。

ゲームコントローラーの十字キーの上下ボタンを押す

ゲームコントローラーを接続していて、「通常モード」²を選択中の場合のみ利用できます。

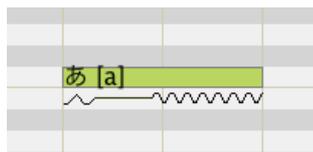
小節数、テンポ、拍子の表示レーン

ピアノロールの上部は 3 段に分かれています。上から順に小節数、テンポ、拍子が表示されます。一番上の小節数のレーンをクリックすると、その位置にソングポジションが移動します。



音符

ピアノロール上では、音符は下図のような四角形で表示されます。



Cadencii では、音符に「フレーズ」と「発音記号」のパラメータを設定します。上の例

² 同上

では「あ」がフレーズ、後ろの「a」が発音記号です。

音符の下には2種類の波線が描かれます。先頭のはアタックパラメータの大小に応じて山型の高さが変わります。後ろのは音符のどの範囲にビブラートがかけられるかを表現しています。

表示倍率

ピアノロールの縦横の表示倍率は、右下の部分で変更できます。



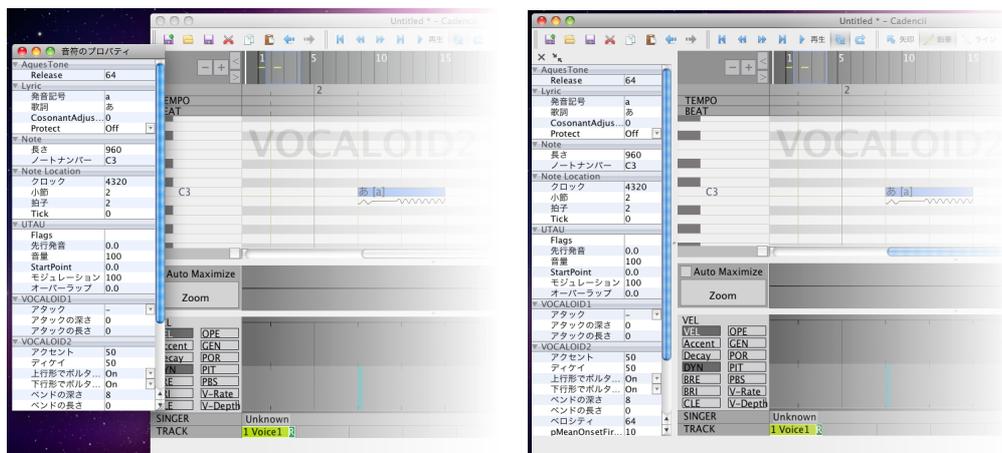
横方向の拡大率はズームスライダで連続的に変えられます。縦方向の拡大率は、「+」「-」のボタンで段階的に変えることができます。

1.3. プロパティエディタ

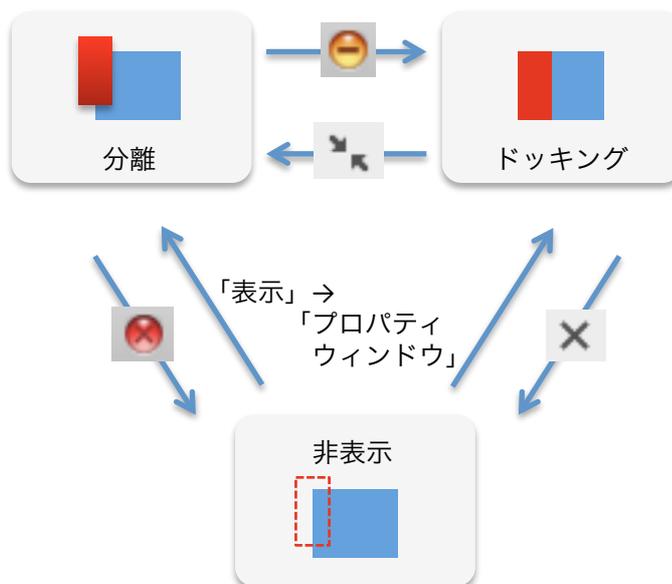
選択中のアイテムのプロパティの表示と編集を行います。複数のアイテムを同時に選択している場合、プロパティの編集操作が選択アイテムすべてに影響します。

メイン画面からの分離

プロパティエディタは本体画面と分離することができます。図の左が本体画面と分離した状態、右が本体画面とドッキングした状態です。

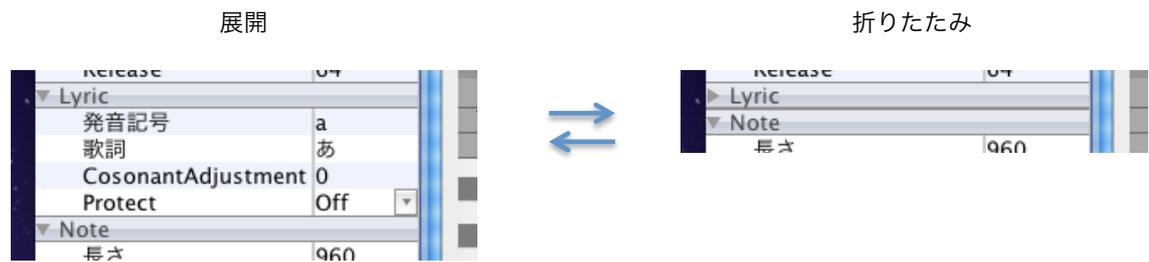


分離状態（左）でウィンドウの最小化ボタンを押すとドッキング状態（右）になります。ドッキング状態（右）でボタンを押すと分離状態（左）になります。まとめると下図のようになります。



カテゴリーの折りたたみ

プロパティの項目はカテゴリーに分類されています。カテゴリーのタイトル部分をクリックすることで、そのカテゴリーを折りたたんでおくことができます。



1.4. 波形ビュー

歌声合成結果の波形を表示する部分です。横方向の拡大率は、ピアノロールのそれと常にシンクロします。

縦方向の拡大率

表示モードは2つあります。自分で拡大率を設定する表示モードと、常に波形を最大化する表示モードです。

拡大率は、Zoom ボタンを押したままマウスを上下に動かすと変わります。また、Automaximize のチェックを入れると最大化して表示するモードになります。

1.5. ナビゲーション・ビュー

楽譜の全体を縮小したものが表示されていて、ピアノロールと同様に横方向が時間を、縦方向が音高をそれぞれ表しています。

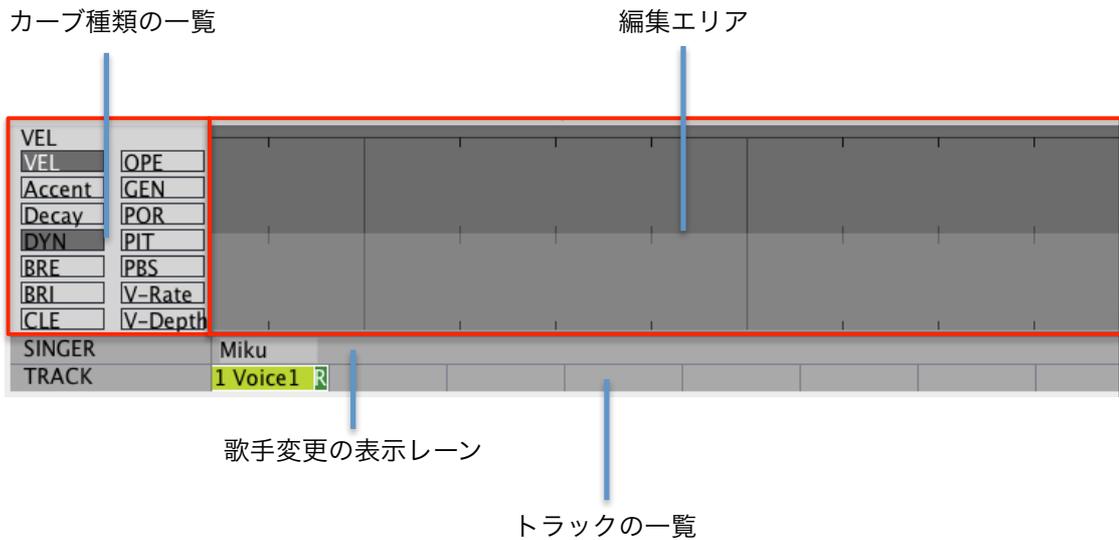
横方向の拡大率は左側にある「+」「-」ボタンで段階的に変えられます。縦方向の拡大率は変更できません。

左右両側にある「<」「>」のボタンは、ナビゲーション・ビューの表示範囲をそれぞれ左右に移動させるためのボタンです。

青い枠付きの表示部分は、現在下のピアノロールで表示されている範囲を表しています。この枠は、ナビゲーション・ビュー上でマウスのボタンを押すとその位置に移動し、下のピアノロールには移動した枠の部分が表示されるようになります。ただし、このときスクロール動作はしないので、マウスのボタンを離すと直前の表示範囲に直ぐにもどります。このとき、単にマウスボタンを押して離す代わりにダブルクリックすると、ダブルクリックした位置への枠の移動が確定し、ピアノロールがスクロールされます。

1.6. コントロールトラック

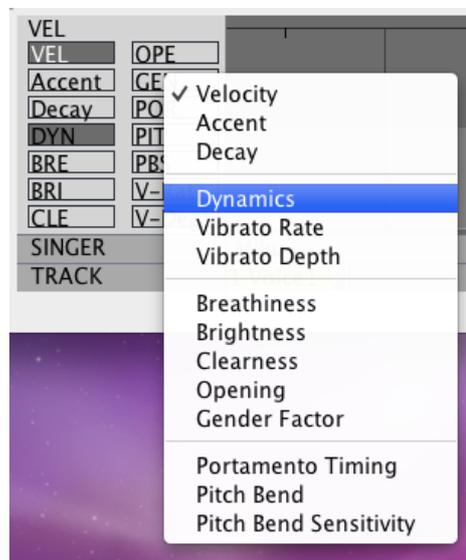
ピッチベンド、音量などのパラメータの表示と編集を行います。



カーブの種類一覧

編集エリアに表示させるカーブを選ぶためのエリアです。上の図では、「VEL」が表示されています。

カーブの選択は、カーブ名が書かれたボタンを押すか、またはこのエリア内で右クリックして出てくるコンテキストメニューで選びます。



このエリアに表示するカーブの種類は、環境設定³から増やしたり減らしたりできるので、よく使うカーブの種類だけ表示させておくのが良いでしょう。一方、コンテキストメニューには環境設定での設定に拠らず、利用可能な全種類のカーブが選択肢に現れます。

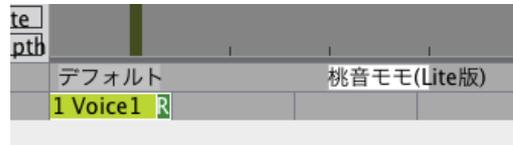
³ (ここにリンク先を書く)

編集エリア

カーブの種類一覧で選択したカーブが表示されます。背景には、1つ前に選択していた種類のカーブが薄く表示されます。

歌手変更の表示レーン

横方向が時間となっており、ピアノロールの表示と常にシンクロしています。歌手変更は、歌手名が書かれた白いボックスで表示されます。ボックスの左端が、歌手変更が挿入されている位置となります。



表示レーンの左端に灰色で網かけ表示されているものは、実際にその位置に歌手変更が挿入されているのではなく、本来画面外の位置に挿入されているものを便宜上表示しているだけです。左にスクロールしていけば、実際に挿入されているものを見られます。

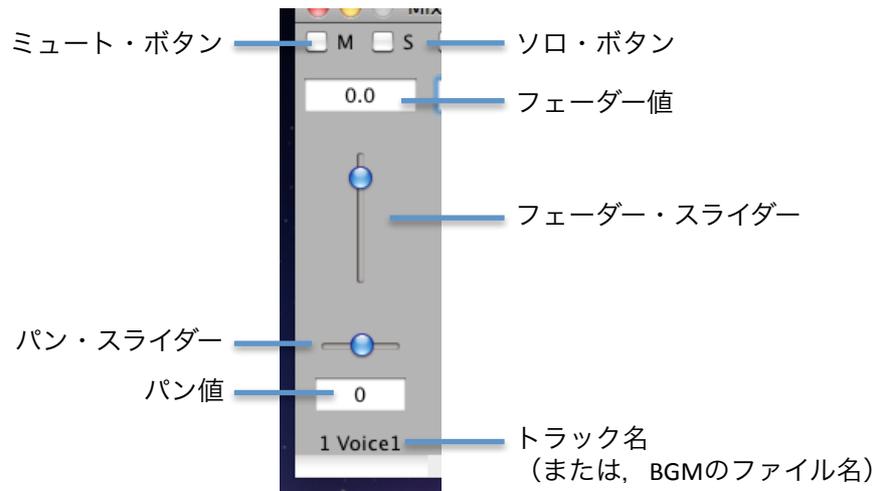
トラックの一覧

トラックの一覧です。OFF（ミュート）状態にしたラックは灰色で表示されます。



1.7. ミキサーウィンドウ

各トラックと、BGMとして挿入した音声トラックに対して、ミキシング用のコントローラーが割り当てられています。



ミュート・ボタンのチェックを入れると、そのトラックの音量がゼロになります。

ソロ・ボタンのチェックを入れると、そのトラック以外の音量がゼロになります。

1.8. アイコンパレットウィンドウ

VOCALOID1 がインストールされているかどうかで、表示が変わります。

VOCALOID1がインストールされて
いない場合



VOCALOID1がインストールされて
いる場合



1 段目が強弱記号、2 段目と 3 段目はクレッシェンドとデクレッシェンドのアイコンです。

ピアノロール上にこれらをドラッグ&ドロップしてアイコンの追加操作を行います。

2. 音符の入力と編集

2.1. マウスによる入力

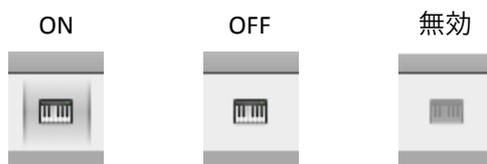
ツールを鉛筆モード  , または直線モード  を選んだ状態で、ピアノロール上でマウスボタンを押す→ドラッグする→マウスボタンを離す、とすれば、マウスボタンを押した位置から離れた位置まで新しい音符が作成されます。

マウスボタンを離れた位置が、押した位置よりも左側にある場合（下図）、入力がキャンセルされます。入力開始の位置を間違えた場合にこの操作をすると便利です。



2.2. MIDI ステップ入力による入力

ツールバーの MIDI ステップ入力をクリックし、MIDI ステップ入力を On の状態にします。MIDI ステップ入力のボタンが押せなくなっている場合は、MIDI 入力装置が接続されていないか、または設定が正しく行われていません。環境設定の項目⁴を参考に設定を見なおしてください。



MIDI ステップ入力では、ソングポジションの位置に音符が追加されるので、ソングポジションを所望の位置に移動しておきます。

⁴ ⁵ 環境設定 (TODO:リンクを更新すること)

3. 歌声合成

4. シーケンスの保存とインポート・エクスポート

5. 環境設定

5.1. 「シーケンス」タブ

分解能 (VSTi)

コントロールカーブ (DYN, PIT など) を入力する際の、時間方向の分解能をクロック単位で設定します。

自動ビブラート

ある一定以上の長さの音符が入力されると、その音符にビブラートを付加することができる機能です。

オートビブラートを有効にする

自動ビブラートの機能の ON/OFF を切り替えます

デフォルトビブラート長

自動ビブラートが追加されるとき、音符長さに対するビブラート部分の長さの比をパーセントで指定します。

オートビブラートが有効な最小の音符の長さ

自動ビブラート機能を ON にしたとき、ここで指定した長さ以上の音符に対して自動ビブラートが設定されます。

自動ビブラートの種類

付加される自動ビブラートの種類を指定します。VOCALOID Editor に付属している定義済みビブラートを使うか、または自分で設定した定義済みビブラートを使うかを変えることができます。「VOCALOID Editor 互換」と「ユーザー定義」のいずれかを選びます。

自分で設定した定義済みビブラートのパラメータは別の所⁵で設定しておき、ここではそれらの中からどれを採用するかを決めます。

5.2. 「その他」タブ

デフォルト歌手

トラックを新規作成した時に選択されるデフォルトの歌手を選びます。

プリセンドタイム

VOCALOID VSTi のパラメータです。

待機時間

VOCALOID VSTi のパラメータです。

過去のイベントを追跡

VOCALOID VSTi のパラメータです。

バッファサイズ

VOCALOID VSTi のパラメータです。

5.3. 「外観」タブ

フォント

メニュー・歌詞 (🌈のみ有効)

「変更」ボタンを押し、メニュー項目の表示フォントを選びます。

スクリーン

「変更」ボタンを押し、ピアノロールの表示フォントを選びます。

UI 言語

言語設定を選びます。

トラックの描画高さ

ピアノロールの、半音分の描画高さを設定します。

表示するコントロールカーブ

コントロールトラックのカーブ種類の一覧に表示するカーブ種類を選びます。常時表示しておきたいカーブ種類にチェックを入れます。